

10月の

園便り

「うちがいっけんあったとこ」

令和2年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

新潟日報「学校&家庭のつぶやき」より

中学生だったころの家庭科での出来事です。

パジャマを作る授業で慣れないミシンに悪戦苦闘していたら、先生が見かねて代わりにやると言ってくれた。でも私は自分の手で作ってみたいと断った。先生はあきれていた。ほとんど全員が授業中に仕上げることができず、宿題で完成させることになった。

文化祭当日、きれいなパジャマの数々の中、私の作品は見るに堪えないものだったようだ。母はママ友から、手伝わなかったのかと聞かれて恥ずかしかったそうだ。さらに先生からも「素直でないお子さんだ」と嫌味を言われたという。下手でも自分で成し遂げたいという達成感があったのに、そんなに悪いことなのかと悔し涙に変わった。

随分前の記事なのですが、子どもの思いを受けとめきれない大人の姿があって、何とも切ない思いがします。中学生の女の子の思いが、大人の自己中心的な面子や体裁を気にした言葉でつぶされています。家庭科を教えている先生にとって、できの悪いパジャマを展示することは、教師としての腕が問われ、面子が丸つぶれとなり、プライドが許さなかったのかもしれませんが。そしてお母さんのお友だちも「手伝ってあげたらいいのに…」と、出来栄だけを気にしています。

自分で仕上げたいと悪戦苦闘した女の子が、悪戦苦闘している最中に感じたり考えたりしたこと、大人たちは何の価値も感じられなかったようです。まして「素直でないお子さんだ」教師のこの言葉は、まさに“水膨れした自我”の状態です（佐高信著「親と子と教師への手紙」）子どもの思いを理解しようとしないう、自分の面子を優先する、子どもから学ぶという姿勢を持っていない、“せつかく私が手伝ってあげると言ったのに断るなんて”という思いあがって生徒を見下す教師＝これが水膨れした自我！！女の子が何を思い、そこから何を学んだか、それが重要なのに、出来栄だけを気にするなんて！！

もし、この教師が、女の子の思いに真摯に耳を傾けていたら、教師として深い学びができたでしょうに！ のぼら祭が18日にあります。お子さんの作品を見る時に、上手・下手という見方をなさらないでくださいね。子どもは思いを持って描いていますし、思いを持って作っているのですから・・・ただ、幼児期の子どもたちは、思いを語ることは積極的にはしませんので、皆様が絵を見て感じたことを言葉にして伝えてあげてくださいね。

昔、赤い絵の具で「ママはね、パンが好きなの…これ、ママが好きなパン…これもママが好きなパン…」と描き続けていたら画用紙全面が“赤”になってしまって、「ママが大好き！」という思いがあふれた“赤だけの絵”になりました。その絵を展示したらお母さんがとても喜んでくださったのです…忘れられない思い出です ♡

10月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	木	○	2:30	令和3年度入園募集開始です。
2	金	○	2:30	
3	土			
4	日	/		
5	月	青	2:30	赤ばら・白ばらさんはどんぐり拾いの遠足です。 赤ばら白ばらは、お弁当、青ばらは給食です。
6	火	赤 白	2:30	青ばらさんはどんぐり拾いの遠足です。 青ばらはお弁当、赤ばら白ばらは給食です。
7	水	○	2:30	
8	木	○	2:30	
9	金	○	2:30	
10	土			
11	日	/	/	
12	月	○	2:30	
13	火	○	2:30	サツマイモ堀に出かけます。雨天順延です。
14	水	○	2:30	
15	木	○	2:30	
16	金	×	2:30	お弁当の日です。お手数をおかけいたしますが、お弁当をお持ちください。
17	土			のぼら祭準備
18	日			のぼら祭です。皆様お揃いでおいでください。
19	月	/	/	のぼら祭振替休日です。2号さんは保育を行います。
20	火	○	2:30	
21	水	×	11:30	誕生会。10月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。
22	木	○	2:30	新潟県主催新採用教員研修「保育参観」が行われます。
23	金	○	2:30	23, 24両日6人ずつ参観いたします。
24	土			
25	日	/	/	
26	月	○	2:30	定期健康診断を行います。青陵大学幼児教育学科の実習生が入ります。 コロナ対策を講じ、人数を少なくし、6週間行います。
27	火	○	2:30	各クラス1組、歯科検診を行います。
28	水	×	11:30	各クラス2組、歯科検診を行います。午前保育です。
29	木	○	2:30	
30	金	○	2:30	
31	土			